

7月二宮小学校便り



令和元年
7月12日発行

7月に入り10日余りが過ぎました。梅雨空がもう少し続きそうですが、子どもたちの心は早くも夏休みに向かっていっているようです。

残りわずかとなった1学期。4月の始業式で、「こんなことができるようになりたいな。」「こんなことをしたいな。」そんな「思い」をもって生活してほしいことを子どもたちに伝えました。自分の「思い」はどうだったのか、その振り返りを大切に、夏休みへつなげていきたいと思っています。

コミュニティ・スクールがスタート

二宮小学校も今年度から、「学校運営協議会」が設置され、コミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

お伝えするのが遅くなってしまいましたが、5月24日(金)に第1回学校運営協議会が開かれ、地域の方々や保護者代表、学校代表(校長、教頭、教務主任、事務主幹)の全13名を協議会の委員として話し合いが持たれました。

学校運営協議会の役割の一つとして、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」があります。そのため、まず、本校のグランドデザインと学校経営方針を説明し、承認をしていただきました。その中身は、学校教育目標と3つの重点項目 ①授業改善に向けての「学習規律の確立」②心を育てる土台としての「挨拶の徹底」及び「学級規律の確立」③安全・安心な学校づくりとしての「学校の決まりを守る意識の向上」についてです。このことは、二宮小学校がどのような子どもを育てていこうとしているのかについて地域と共有し、学校と地域が同じ方向を向いて子どもを育てていくことつながると考えます。

次に、学校運営組織と学校予算について学校側から説明をしました。

その後、今年度の活動計画について協議をしました。その主な内容は、地域人材のさらなる活用について、見守りや学習など現在すでに行われている支援の整理について、学校が求めている支援の洗い出しについて、放課後の子どもの居場所づくりについて、などでした。

次の学校運営協議会は8月30日(金)に予定されています。学校に対する地域の方の支援

についてが話し合いの主な内容となります。

これからも学校運営協議会の皆さんと知恵を出し合い、より良い学校運営を目指していきたいと思っています。

第1回「にのプロ」が開かれました

6月12日(水)の昼休みから掃除の時間にかけて、今年最初の「にのプロ」が開かれました。「にのプロ」は、「二小なかよしプロジェクト」が正式名称で、1年生から6年生までが1つの班となり(1班12名~15名)、異学年で交流する活動のことで、この交流を通して、お互いに協力して学校生活を楽しく豊かにしていこうとする態度を身につけることをねらいとしています。

「にのプロ」は、年間7回の活動が予定されています。そのうちの1回は「なかよしふれあいハイキング」として班で校外に出かけ協力しながら交流を深める、「にのプロ」の中で最も大きな活動が11月に予定されています。

先月の第1回は、まず班のめあてをみんなで考えました。「みんなで助け合える班」「学年に限らず仲のよい班」「笑顔で明るい班」など各班それぞれです。その後、ゲームなどをして、班のみんなで交流を深めました。初めての顔合わせでしたが、班長の6年生が上手にリードし、どの班も楽しく活動することができたようです。



6月の学習からの一コマです。1年生の生活「がっこうにいるひととなかよくなろう」です。学校内のいろいろな人にインタビューをして、その人のことをよく知ろうという学習です。校長室にも1年生がやってきました。歴代校長の写真や置いてあるものなどを観察した後、インタビューを受けました。「いつもどんなしごとをしているのですか」「パソコンでなにをしているのですか」「このおおきなテーブルはなににつかうのですか」「こうちょうしつにはどんなひとがきますか」などなど。やってきた1年生は、あいさつとお礼をしっかりと言うことができました。あいさつとお礼から仲良くなることが始まりますね。



